

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋生命科学部海洋生物資源学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	水産海洋概論Ⅱ	1年	2	食品研究開発機関等での勤務経験を有する教員が、基礎的な水産物利用方法を指導する
学部等共通科目	基礎科目	陸水学	2年	2	水産関連のさまざまな研究機関や行政での勤務経験を活かし、陸水学だけでなく、陸水（内水面）の漁業や遊漁に関する講義も行います。
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	3年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現任教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	応用藻類学	3年	2	県の研究・行政機関での職務経験を持つ教員2名が経験を含めて講義を行う。
専門科目	専門科目	応用藻類学実習	3年	1	県の研究・行政機関において海洋環境調査、藻場保全の調査、有用海藻の種苗生産の実務経験を持つ教員2名が行う。
専門科目	専門科目	保全増殖学	3年	2	研究所にて保全増殖学に関する実務経験を有する教員が、栽培漁業事業の現場について講義する

専門科目	専門科目	海洋生物資源実務実習	3年	1	海洋生物資源の試験研究所等での実務を体験させ、幅広い視野を醸成する
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年	2	学校教員として実務経験を有する教員が子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを実践を交えながら習得する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋生命科学部食品生産科学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	水産海洋概論Ⅱ	1年	2	食品研究開発機関等での勤務経験を有する教員が、基礎的な水産物利用方法を指導する
学部等共通科目	基礎科目	陸水学	2年	2	水産関連のさまざまな研究機関や行政での勤務経験を活かし、陸水学だけでなく、陸水（内水面）の漁業や遊漁に関する講義も行います。
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	3年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現任教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	食品生産科学入門実験	1年	1	食品関連企業等での実務経験を有する教員が、食品加工の基礎的理解について講義する
専門科目	専門科目	食品微生物学	2年	2	生物医学での実務経験を有する教員が、食品分野における微生物制御（有害面）と微生物利用（有用面）の課題解決方法について解説する
専門科目	専門科目	食品加工学	3年	2	国または都道府県の研究所で食品加工に関する実務経験を有する教員が、代表的な水産加工食品についての最新動向、産業的意義や研究開発方法を講義する
専門科目	専門科目	食品生産システム調査	2年	1	食品関連企業を訪問し、その企業の実務経験者から食品業界の現状について学習する

専門科目	専門科目	食品包装論	3年	2	食品関連企業や国・県の行政関連機関等での実務経験を有する教員が、食品における包装容器の役割や関連する社会・法制度の動向の解説を通じて包装の重要性について講義する。また、一部の講義に外部から実務家を招聘して、容器包装の最新技術や情報を学ぶ。
専門科目	専門科目	食品科学実務実習	3年	1	食品関連企業等での実務体験により幅広い視野を醸成する
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
専門科目	専門科目	食品貯蔵学	3年	2	食品メーカーの商品開発部門での開発実務経験を有する教員が、食品貯蔵法の原理が実際に商品開発、生産、貯蔵、輸送などの運用について講義する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年	2	学校教員として実務経験を有する教員が子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを実践を交えながら習得する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋生命科学部海洋政策文化学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	水産海洋概論Ⅱ	1年	2	食品研究開発機関等での勤務経験を有する教員が、基礎的な水産物利用方法を指導する
学部等共通科目	基礎科目	陸水学	2年	2	水産関連のさまざまな研究機関や行政での勤務経験を活かし、陸水学だけでなく、陸水（内水面）の漁業や遊漁に関する講義も行います。
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	3年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現任教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	魚食文化論	1年	2	水産関連団体等の実務家が、魚食文化の現状について解説する（山瀬茂継教員、長崎 一生教員）
専門科目	専門科目	水圏環境教育学実習	2年	1	水圏環境における地元の専門家等や地域住民を対象として資料収集及び聞き取り調査を行い、それらを経て企画書作成及びプロセス全体について報告書を作成する。
専門科目	専門科目	マリンスポーツ実習	2年	1	マリンスポーツに関する実務経験を有する外部講師をゲストスピーカーに招き、マリンスポーツを取り巻く現状と問題点、価値と教育的効果、安全管理と安全学習等について学習する。
専門科目	専門科目	漁業経営論	2年	2	漁業者、自治体職員、流通関係者、飲食店経営者等を招いて、漁業およびその関連産業の現状、動向について学習する。

専門科目	専門科目	海洋政策文化インターンシップ	3年	1	行政機関等での実務体験により幅広い視野を醸成する
専門科目	専門科目	漁村フィールドワーク実習	3年	1	産地漁村、漁協、市場等の現場を直接訪問し、聞き取り調査を実施することで、調査手法、情報データの整理、解析方法等を習得する
専門科目	専門科目	水圏環境コミュニケーション学実習	3年	1	水圏環境における地元の専門家等や地域住民を対象として資料収集及び聞き取り調査を経て企画書作成及びプロセス全体について報告書を作成する。
専門科目	専門科目	国際協力論	3年	2	国際開発援助のコンサルタントが、オムニバス形式で国際協力現場についての具体例を解説する
専門科目	専門科目	水産政策論	3年	2	水産行政に関する実務経験を有する教員が、水産業をめぐる政策の現状や政策形成メカニズムについて講義する
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
専門科目	専門科目	海洋政策文化基礎演習	1年	1	行政機関、漁業組織等の現場訪問をし、海洋政策調査研究の基礎的スキルを習得する。
専門科目	専門科目	海洋政策実習	3年	1	担当教官は国の水産行政に携わっていたことから、実習にあたりその経験に基づく指導が期待できる。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年	2	学校教員として実務経験を有する教員が子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを実践を交えながら習得する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋工学部海事システム工学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	専門科目	船用工業実務論	3年	2	船用工業に関連する企業において、実務の第一線で活躍する講師を招き、船用機器に関する最新の取り組みについて講義する。
学部等共通科目	専門科目	国際輸送実務論	3年	2	外航海運企業の最前線で活躍する講師が、海陸で展開している事業の概要を説明する。外航海運の現状と世界経済における役割・貢献について学ぶ。
学部等共通科目	専門科目	キャリア形成論	2年	2	担当講師によるキャリアに関する理論面の講義と、様々な企業で活躍している卒業生の職業や自身のキャリアに関する具体的な講演を通じて、学生の就労観を養う。
学部等共通科目	専門科目	学外実習	2年・3年	1	国内の企業の現場で様々な体験を積むことで、実社会での仕事の役割を理解する。
学部等共通科目	専門科目	海洋開発環境エネルギー概論	3年	3	海洋開発および環境エネルギー分野の一線で活躍している研究者・技術者を講師に招き、集中特別講義形式で開講する。海事・海洋産業への関心を深め、将来の展望を学ぶ。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習	4年	2	各教育実習校で高校教員による指導を受ける。
専門科目	専門科目	海運実務論	3年	2	船社で海運の実務をしているゲスト講師が、世界の海運の現状と海運企業の企業活動全般について講義する
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅰ	1年・2年	3	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅱ	3年	2	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅲ	4年 3年	5	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	海洋実習	1年・2年	1	シーサバイバルテクニックの講師経験者が、自己保全技能や水上救助法や心肺蘇生法等の他者救助の知識・技術を指導する
専門科目	専門科目	海事システム工学実験演習Ⅴ	4年	4	航海実務経験のある教員、消火・救命の講習会で講師経験のある専門家による授業
専門科目	専門科目	国際法	2年 3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅰ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅱ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅰ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅱ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	損害賠償法	3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
専門科目	専門科目	輸送管理	3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。

専門科目	専門科目	海商法	3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
専門科目	専門科目	海事教育技法	4年	2	本校以外の船舶職員養成施設にて船舶職員養成に関する実務経験を有する教員が担当する。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習事前事後指導	4年	1	担当教員は神奈川県立海洋科学高等学校総括教諭であり、教員として教育実習生を受け入れてきた実務経験に基づいて指導する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
専門科目	教職に関する科目	工業科指導法Ⅱ	3年	2	工業高校の元教員が、学校教育に関する法令、高等学校学習指導要領「工業」の目標とその科目の指導法、授業技術について講義する。
専門科目	教職に関する科目	職業指導（商船）	4年	2	職業指導を業務内容に含む非営利組織法人理事による授業
専門科目	教職に関する科目	職業指導（工業）	4年	2	職業指導を業務内容に含む非営利組織法人理事による授業
専門科目	専門科目	海上無線法規	4年	2	他機関での実務経験があり、授業科目の指導に生かしている

合計

58

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋工学部海洋電子機械工学科
機関システム工学コース

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	専門科目	船用工業実務論	3年	2	船用工業に関連する企業において、実務の第一線で活躍する講師を招き、船用機器に関する最新の取り組みについて講義する。
学部等共通科目	専門科目	国際輸送実務論	3年	2	外航海運企業の最前線で活躍する講師が、海陸で展開している事業の概要を説明する。外航海運の現状と世界経済における役割・貢献について学ぶ。
学部等共通科目	専門科目	キャリア形成論	2年	2	担当講師によるキャリアに関する理論面の講義と、様々な企業で活躍している卒業生の職業や自身のキャリアに関する具体的な講演を通じて、学生の就労観を養う。
学部等共通科目	専門科目	学外実習	2年・3年	1	国内の企業の現場で様々な体験を積むことで、実社会での仕事の役割を理解する。
学部等共通科目	専門科目	海洋開発環境エネルギー概論	3年	3	海洋開発および環境エネルギー分野の一線で活躍している研究者・技術者を講師に招き、集中特別講義形式で開講する。海事・海洋産業への関心を深め、将来の展望を学ぶ。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習	4年	2	各教育実習校で高校教員による指導を受ける。
専門科目	専門科目	海運実務論	3年	2	船社で海運の実務をしているゲスト講師が、世界の海運の現状と海運企業の企業活動全般について講義する
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅰ	1年・2年	3	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅱ	3年	2	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅲ	4年 3年	5	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	海洋実習	1年・2年	1	シーサバイバルテクニックの講師経験者が、自己保全技能や水上救助法や心肺蘇生法等の他者救助の知識・技術を指導する
専門科目	専門科目	機関実務実習	4年	1	「消火講習」および「救命講習」に関する内容について、それぞれの講習会等での講師も務める実務経験者が、実務的な知識や技術を指導する授業
専門科目	専門科目	国際法	2年 3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅰ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅱ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅰ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅱ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習事前事後指導	4年	1	担当教員は神奈川県立海洋科学高等学校総括教諭であり、教員として教育実習生を受け入れてきた実務経験に基づいて指導する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。

専門科目	教職に関する科目	職業指導（商船）	4年	2	職業指導を業務内容に含む非営利組織法人理事による授業
専門科目	専門科目	ターボ動力工学Ⅰ	2年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、蒸気タービン船（LNG船）で運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	ターボ動力工学Ⅱ	3年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、蒸気タービン船（LNG船）で運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	ガスタービン工学	3年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、ディーゼル船の排気過給機の運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	水中機器学	4年	2	国立の海洋調査機関での研究・開発、南極地域観測隊への参加実績

合計

49

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋工学部海洋電子機械工学科
制御システム工学コース

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	専門科目	船用工業実務論	3年	2	船用工業に関連する企業において、実務の第一線で活躍する講師を招き、船用機器に関する最新の取り組みについて講義する。
学部等共通科目	専門科目	国際輸送実務論	3年	2	外航海運企業の最前線で活躍する講師が、海陸で展開している事業の概要を説明する。外航海運の現状と世界経済における役割・貢献について学ぶ。
学部等共通科目	専門科目	キャリア形成論	2年	2	担当講師によるキャリアに関する理論面の講義と、様々な企業で活躍している卒業生の職業や自身のキャリアに関する具体的な講演を通じて、学生の就労観を養う。
学部等共通科目	専門科目	学外実習	2年・3年	1	国内の企業の現場で様々な体験を積むことで、実社会での仕事の役割を理解する。
学部等共通科目	専門科目	海洋開発環境エネルギー概論	3年	3	海洋開発および環境エネルギー分野の一線で活躍している研究者・技術者を講師に招き、集中特別講義形式で開講する。海事・海洋産業への関心を深め、将来の展望を学ぶ。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習	4年	2	各教育実習校で高校教員による指導を受ける。
専門科目	専門科目	海運実務論	3年	2	船社で海運の実務をしているゲスト講師が、世界の海運の現状と海運企業の企業活動全般について講義する
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅰ	1年・2年	3	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	海洋実習	1年・2年	1	シーサバイバルテクニックの講師経験者が、自己保全技能や水上救助法や心肺蘇生法等の他者救助の知識・技術を指導する
専門科目	専門科目	国際法	2年 3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅰ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅱ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅰ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅱ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習事前事後指導	4年	1	担当教員は神奈川県立海洋科学高等学校総括教諭であり、教員として教育実習生を受け入れてきた実務経験に基づいて指導する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
専門科目	教職に関する科目	工業科指導法Ⅱ	3年	2	工業高校の元教員が、学校教育に関する法令、高等学校学習指導要領「工業」の目標とその科目の指導法、授業技術について講義する。
専門科目	教職に関する科目	職業指導（工業）	4年	2	職業指導を業務内容に含む非営利組織法人理事による授業
専門科目	専門科目	ターボ動力工学Ⅰ	2年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、蒸気タービン船（LNG船）で運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。

専門科目	専門科目	ターボ動力工学Ⅱ	3年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、蒸気タービン船(LNG船)で運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	ガスタービン工学	3年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、ディーゼル船の排気過給機の運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	水中機器学	4年	2	国立の海洋調査機関での研究・開発、南極地域観測隊への参加実績

合計

43

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋工学部海洋電子機械工学科
 機関システム工学コース（商船教員養成コース）

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	専門科目	船用工業実務論	3年	2	船用工業に関連する企業において、実務の第一線で活躍する講師を招き、船用機器に関する最新の取り組みについて講義する。
学部等共通科目	専門科目	国際輸送実務論	3年	2	外航海運企業の最前線で活躍する講師が、海陸で展開している事業の概要を説明する。外航海運の現状と世界経済における役割・貢献について学ぶ。
学部等共通科目	専門科目	キャリア形成論	2年	2	担当講師によるキャリアに関する理論面の講義と、様々な企業で活躍している卒業生の職業や自身のキャリアに関する具体的な講演を通じて、学生の就労観を養う。
学部等共通科目	専門科目	学外実習	2年・3年	1	国内の企業の現場で様々な体験を積むことで、実社会での仕事の役割を理解する。
学部等共通科目	専門科目	海洋開発環境エネルギー概論	3年	3	海洋開発および環境エネルギー分野の一線で活躍している研究者・技術者を講師に招き、集中特別講義形式で開講する。海事・海洋産業への関心を深め、将来の展望を学ぶ。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習	4年	2	各教育実習校で高校教員による指導を受ける。
専門科目	専門科目	海運実務論	3年	2	船社で海運の実務をしているゲスト講師が、世界の海運の現状と海運企業の企業活動全般について講義する
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅰ	1年・2年	3	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅱ	3年	2	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	船舶実習Ⅲ	4年 3年	5	船員養成を行っている（独）海技教育機構の教官が、指導・訓練を行う
専門科目	専門科目	海洋実習	1年・2年	1	シーサバイバルテクニックの講師経験者が、自己保全技能や水上救助法や心肺蘇生法等の他者救助の知識・技術を指導する
専門科目	専門科目	機関実務実習	4年	1	「消火講習」および「救命講習」に関する内容について、それぞれの講習会等での講師も務める実務経験者が、実務的な知識や技術を指導する授業
専門科目	専門科目	国際法	2年 3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅰ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅱ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅰ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅱ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習事前事後指導	4年	1	担当教員は神奈川県立海洋科学高等学校総括教諭であり、教員として教育実習生を受け入れてきた実務経験に基づいて指導する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。

専門科目	教職に関する科目	職業指導（商船）	4年	2	職業指導を業務内容に含む非営利組織法人理事による授業
専門科目	専門科目	ターボ動力工学Ⅰ	2年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、蒸気タービン船（LNG船）で運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	ターボ動力工学Ⅱ	3年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、蒸気タービン船（LNG船）で運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	ガスタービン工学	3年	2	前職の社内船員研修所での勤務経験を有する教員が、ディーゼル船の排気過給機の運転管理の実務経験も踏まえ、講義を行う。
専門科目	専門科目	水中機器学	4年	2	国立の海洋調査機関での研究・開発、南極地域観測隊への参加実績

合計

49

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋工学部流通情報工学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	専門科目	船用工業実務論	3年	2	船用工業に関連する企業において、実務の第一線で活躍する講師を招き、船用機器に関する最新の取り組みについて講義する。
学部等共通科目	専門科目	国際輸送実務論	3年	2	外航海運企業の最前線で活躍する講師が、海陸で展開している事業の概要を説明する。外航海運の現状と世界経済における役割・貢献について学ぶ。
学部等共通科目	専門科目	キャリア形成論	2年	2	担当講師によるキャリアに関する理論面の講義と、様々な企業で活躍している卒業生の職業や自身のキャリアに関する具体的な講演を通じて、学生の就労観を養う。
学部等共通科目	専門科目	学外実習	2年・3年	1	国内の企業の現場で様々な体験を積むことで、実社会での仕事の役割を理解する。
学部等共通科目	専門科目	海洋開発環境エネルギー概論	3年	3	海洋開発および環境エネルギー分野の一線で活躍している研究者・技術者を講師に招き、集中特別講義形式で開講する。海事・海洋産業への関心を深め、将来の展望を学ぶ。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習	4年	2	各教育実習校で高校教員による指導を受ける。
専門科目	専門科目	通関実務論	3年	2	グローバルSCMの一線で活躍している講師が貿易実務や国際物流の仕組みを講義する。
専門科目	専門科目	マーケティング論	3年	2	経営コンサルティング経験のある講師が、具体的な企業事例に基づき、流通・マーケティングの講義を行う。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅰ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	短期学外実習Ⅱ（海外）	2年	1	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅰ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	長期学外実習Ⅱ（海外）	2年	2	海外の企業の現場で様々な体験を積むことで、グローバル社会で活躍するための能力を習得する。
専門科目	専門科目	損害賠償法	3年	2	講義者の法学研究、及び外航商船の航海士、船長、練習船の船長としての実務経験が講義に反映される。
学部等共通科目	教職に関する科目	教育実習事前事後指導	4年	1	担当教員は神奈川県立海洋科学高等学校総括教諭であり、教員として教育実習生を受け入れてきた実務経験に基づいて指導する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
専門科目	教職に関する科目	工業科指導法Ⅱ	3年	2	工業高校の元教員が、学校教育に関する法令、高等学校学習指導要領「工業」の目標とその科目の指導法、授業技術について講義する。
専門科目	教職に関する科目	職業指導（工業）	4年	2	職業指導を業務内容に含む非営利組織法人理事による授業

合計

33

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋資源環境学部海洋環境科学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	3年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義する
学部等共通科目	専門科目	水産海洋概論Ⅱ	1年	2	食品研究開発機関等での勤務経験を有する教員が、基礎的な水産物利用方法を指導する
学部等共通科目	専門科目	海域連携利用論	3年	2	産学連携や地域連携に関する経験の豊富な実務者（学外）をゲストスピーカーとして招き、ケーススタディを学んだ後に、ディスカッションやグループワークなどを行い、知識や考え方の定着を図る
学部等共通科目	専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅰ	3年	1	海洋環境学分野および将来の進路に関連した現場での実務体験を通して、現場における実務内容について理解する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現役教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	海底科学Ⅰ	2年	2	海洋資源探査に関する実務経験を有する教員が、海底を観察するための手法の基礎について講義する
専門科目	専門科目	海洋生物学研究の最前線	3年	2	海洋生物学研究における実務経験を有する教員が、教員自身の研究を含め、最新の研究動向について講義する
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。

専門科目	専門科目	環境アセスメント論	3年	2	教員は、2006～2012年度に横浜市の環境影響評価審査会の委員を務めた経験を有し、技術士（環境部門-環境影響評価分野）の資格（登録番号：第54906号）を有する。
専門科目	専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅱ	4年	1	海洋環境科学、海洋資源エネルギー学、および関連分野における現場での実務を通じて、将来の進路を考え定める際に有用な経験を得るとともに、自身の適性を把握する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年	2	学校教員として実務経験を有する教員が子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを実践を交えながら習得する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋資源環境学部海洋資源エネルギー学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅰ	1年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義します。
学部等共通科目	基礎科目	キャリア形成論Ⅱ	3年	1	実務経験を活かし、キャリアデザインについて講義する
学部等共通科目	専門科目	水産海洋概論Ⅱ	1年	2	食品研究開発機関等での勤務経験を有する教員が、基礎的な水産物利用方法を指導する
学部等共通科目	専門科目	海域連携利用論	3年	2	産学連携や地域連携に関する経験の豊富な実務者（学外）をゲストスピーカーとして招き、ケーススタディを学んだ後に、ディスカッションやグループワークなどを行い、知識や考え方の定着を図る
学部等共通科目	専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅰ	3年	1	海洋環境学分野および将来の進路に関連した現場での実務体験を通して、現場における実務内容について理解する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現役教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	海底科学Ⅰ	2年	2	海洋資源探査に関する実務経験を有する教員が、海底を観察するための手法の基礎について講義する
専門科目	専門科目	海洋資源エネルギー学実習Ⅰ	2年	1	建設会社にて海洋資源エネルギー学に関する実務経験を有する教員、船舶職員として実務経験を有する教員が、基礎的な計測方法（海上も含む）、解析方法等について講義する
専門科目	専門科目	海洋開発学研究所の最前線	3年	2	海洋開発学分野における実務経験を有する教員が、海洋開発の意義や役割、最新の研究や開発動向について講義する。

専門科目	専門科目	応用海洋工学研究の最前線	3年	2	応用海洋工学に関する実務経験を有する外部講師を招き、基礎科学、海底資源、再生可能エネルギー、海洋環境の保全等について学習する
専門科目	専門科目	海洋資源工学 I	3年	2	海洋資源探査に関する実務経験を有する教員が、資源開発に必要な専門知識について講義する
専門科目	専門科目	海洋自然エネルギー	3年	2	建設会社にて海洋資源エネルギー学に関する実務経験を有する教員が、海洋再生可能エネルギーの利用（設計施工方法を含む）と海洋環境の保全について講義する
学部等共通科目	教職に関する科目	特別支援教育概論	2年	1	本授業は、元特別支援学校教諭が、教員免許取得に必要な科目として、特別支援学校や通常学校の特別支援学級・通常学級における指導法・支援方法について解説する。
専門科目	専門科目	環境アセスメント論	3年	2	教員は、2006～2012年度に横浜市の環境影響評価審査会の委員を務めた経験を有し、技術士（環境部門-環境影響評価分野）の資格（登録番号：第54906号）を有する。
専門科目	専門科目	海洋資源環境キャリア実習 II	4年	1	海洋環境科学、海洋資源エネルギー学、および関連分野における現場での実務を通じて、将来の進路を考え定める際に有用な経験を得るとともに、自身の適性を把握する。
専門科目	専門科目	海洋地盤工学	3年	2	教員は、技術士（建設部門-土質及び基礎分野、登録番号：第54906番）かつ地盤品質判定士（登録番号：第116-0083-1号）の資格を有する。
学部等共通科目	教職に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年	2	学校教員として実務経験を有する教員が子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを実践を交えながら習得する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋科学部海洋環境学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的スキルを習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現役教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	海洋資源エネルギー学実習Ⅰ	2年	1	建設会社にて海洋資源エネルギー学に関する実務経験を有する教員、船舶職員として実務経験を有する教員が、基礎的な計測方法（海上も含む）、解析方法等について講義する
専門科目	専門科目	応用海洋工学研究の最前線	3年	2	応用海洋工学に関する実務経験を有する外部講師を招き、基礎科学、海底資源、再生可能エネルギー、海洋環境の保全等について学習する
専門科目	専門科目	海洋資源環境キャリア実習Ⅱ	4年	1	海洋環境科学、海洋資源エネルギー学、および関連分野における現場での実務を通じて、将来の進路を考え定める際に有用な経験を得るとともに、自身の適性を把握する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋科学部海洋生物資源学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	陸水学	2年	2	水産関連のさまざまな研究機関や行政での勤務経験を活かし、陸水学だけでなく、陸水（内水面）の漁業や遊漁に関する講義も行います。
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現任教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	応用藻類学	3年	2	県の研究・行政機関での職務経験を持つ教員2名が経験を含めて講義を行う。
専門科目	専門科目	応用藻類学実習	3年	1	県の研究・行政機関において海洋環境調査、藻場保全の調査、有用海藻の種苗生産の実務経験を持つ教員2名が行う。
専門科目	専門科目	保全増殖学	3年	2	研究所にて保全増殖学に関する実務経験を有する教員が、栽培漁業事業の現場について講義する
専門科目	専門科目	海洋生物資源実務実習	3年	1	海洋生物資源の試験研究所等での実務を体験させ、幅広い視野を醸成する

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（2022年度）

海洋科学部海洋政策文化学科

申請科目区分	科目区分・ 専攻分野	授業科目名	対象学年	単位数	実務経験を用いてどのような授業を行っているか
全学共通科目	総合科目	海洋生命科学概論	1年	1	環境分野のコンサルタント業務に携わる実務家を特別講義に招き、環境問題への対応と企業の役割について解説する。
全学共通科目	総合科目	海洋工学概論	1年	1	航海訓練機関での勤務経験を有する教員が、船員教育訓練及び船舶の運航技術等について講義する
全学共通科目	総合科目	海洋資源環境学概論	1年	1	海洋科学及び工学に関する実務経験を有する教員が、海洋及び海底の環境と資源に関して集積された知識について講義する
学部等共通科目	総合科目	健康科学	1年	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が、健康問題への対策について講義を行う
学部等共通科目	基礎科目	陸水学	2年	2	水産関連のさまざまな研究機関や行政での勤務経験を活かし、陸水学だけでなく、陸水（内水面）の漁業や遊漁に関する講義も行います。
学部等共通科目	基礎科目	グローバルキャリア入門	1年	2	担当教員は産業界出身のため、将来の学生のグローバルキャリアを見越した講義は、教員自身の体験による内容も多く含まれる。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅰ	3年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	基礎科目	海外派遣キャリア演習Ⅱ	4年	2	海外の大学やグローバル市場に展開する企業の現場で様々な研修を実施し、学生が将来グローバル社会で活躍するための能力を習得できるよう、担当教員が産業界での実務経験を活かして指導します。
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅰ	2年	2	博物館運営の実務者である教員が、博物館に関する最新の情報などを示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅱ	3年	2	博物館運営の実務者である教員が、学芸員が携わる業務の実例を示し、学芸員として持つべき基礎知識と意識について指導する
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館学Ⅴ	3年	2	博物館による実地学習を通して、展示の企画立案や現場での構築方法について学ぶ
学部等共通科目	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅰ	3年	2	マリンサイエンスミュージアムでの博物館学芸員の実務を理解し、博物館が行う事業を遂行するための基礎的技能を習得する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅰ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、理科を学ぶ子供たちの側に立って、どのような視点で教育すればいいのかを指導する
学部等共通科目	教職に関する科目	理科教育法Ⅱ	2年	2	学校教員として実務経験を有する教員が、実践的な教科指導について指導するとともに、現役教員とともに実践的授業を行う
学部等共通科目	教職に関する科目	教育相談	3年	2	臨床心理士、公認心理師である教員が、学校現場における教育相談における諸問題を解説する
専門科目	専門科目	マリンスポーツ実習	2年	1	マリンスポーツに関する実務経験を有する外部講師をゲストスピーカーに招き、マリンスポーツを取り巻く現状と問題点、価値と教育的効果、安全管理と安全学習等について学習する。
専門科目	専門科目	漁業経営論	2年	2	漁業者、自治体職員、流通関係者、飲食店経営者等を招いて、漁業およびその関連産業の現状、動向について学習する。
専門科目	専門科目	海洋政策文化インターンシップ	3年	1	行政機関等での実務体験により幅広い視野を醸成する
専門科目	専門科目	漁村フィールドワーク実習	3年	1	産地漁村、漁協、市場等の現場を直接訪問し、聞き取り調査を実施することで、調査手法、情報データの整理、解析方法等を習得する
専門科目	専門科目	水圏環境コミュニケーション学実習	3年	1	水圏環境における地元の専門家等や地域住民を対象として資料収集及び聞き取り調査を経て企画書作成及びプロセス全体について報告書を作成する。
専門科目	専門科目	国際協力論	3年	2	国際開発援助のコンサルタントが、オムニバス形式で国際協力現場についての具体例を解説する

専門科目	専門科目	水産政策論	3年	2	水産行政に関する実務経験を有する教員が、水産業をめぐる政策の現状や政策形成メカニズムについて講義する
専門科目	専門科目	海洋政策実習	3年	1	担当教官は国の水産行政に携わっていたことから、実習にあたりその経験に基づく指導が期待できる。